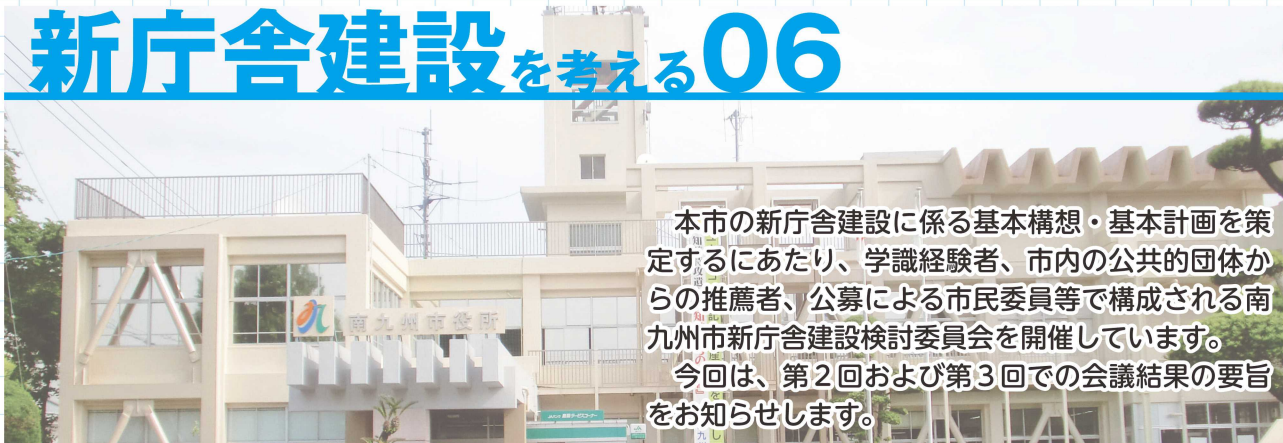


新庁舎建設を考える06



本市の新庁舎建設に係る基本構想・基本計画を策定するにあたり、学識経験者、市内の公共的団体からの推薦者、公募による市民委員等で構成される南九州市新庁舎建設検討委員会を開催しています。今回は、第2回および第3回での会議結果の要旨をお知らせします。

市内9カ所で説明会を開催

新庁舎の整備方針や規模、事業費、支所の機能や活用方針などについて市民の皆さまへ説明する市民説明会を下記の日程で開催します。

- 11月15日(月) 別府小体育館
- 11月16日(火) 青戸小体育館
- 11月17日(水) 額娃文化会館
- 11月20日(土) 旧田代小体育館
- 11月22日(月) 川辺文化会館
- 11月23日(火) 勝目小体育館
- 11月24日(水) 霜出小体育館
- 11月25日(木) 知覧文化会館
- 11月26日(金) 松山小体育館

※午後6時30分開会～午後8時閉会
当日は、新型コロナウイルス感染症対策のため検温や消毒などにご協力ください。

その他の協議事項
・市債(市の借金) 状況
・市民アンケート(案)

第2回検討委員会(会議要旨)
期日…令和3年7月2日(金)
建設位置は「知覧農業振興センター」を前提とすることを確認
第2回検討委員会では、主に基本構想・基本計画策定の進め方について協議しました。
その中で委員から、そもそも新庁舎の建設位置を「知覧農業振興センター」として検討を進めていくのか確認したいとの意見が出され協議を行いました。意見集約の結果、これまで過去の市民検討委員会などで議論を重ね、提言を経て市の方針が決定されていることから場所については「知覧農業振興センター」を前提として検討を進めることを確認しました。

**額娃・川辺支所部門の職員数を増員
庁内検討委員会検討案を報告**
新庁舎建設後、本課が集約されるため現在の額娃・川辺庁舎の職員数は減少しますが、支所部門の職員数は現在より増員とする案が提示されました。

**コンパクトな庁舎を！
今後の見通しを含め財政状況を説明**
現在の市債(市の借金)や基金(貯金)、今後の財政負担の見通しを含めた市全体の財政状況について説明がありました。建設による借入れを行っても、財政上のバランスを大きく欠くものではないと理解した上で、イニシャルコスト(建設費などの初期投資費)とランニングコスト(維持管理費)のどちらも圧縮できるようにコンパクトな庁舎建設の検討を進めていくことを確認しました。

第3回検討委員会(会議要旨)
期日…令和3年8月3日(火)

【問】知 新庁舎建設推進課



会議の資料や会議録は
こちらからご覧になれます。
<http://www.city.minamikyushu.lg.jp/chousya/kentouinnkai.html>

その他の協議事項
・市民アンケート
・市民ワークショップ

委員から、市民にとって庁舎の在籍職員数と支所部門の在籍職員数の違いが分かりにくいことから改めて整理が必要との意見が出されました。
本庁方式への移行は新庁舎建設の前提条件であることを確認
庁舎方式について、新たな庁舎の在り方を模索する意見や一部分庁方式とする意見が出され協議を行いました。平成24年以降、本庁方式への集約を進めるべきとの市民検討委員会の提言を受け、市は本庁方式とすることを決定していることなどから本庁方式への移行は新庁舎建設の前提条件と捉えることを確認しました。